



日本中小型株ファンド

愛称: 発掘名人

追加型投信/国内/株式

2023年のパフォーマンスの振り返りと今後の見通し

平素は『日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)』(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。当レポートでは、2023年の運用状況のご報告に加え、2024年の相場の着目点やファンドマネージャーが注目しているテーマなどについてご説明させていただきます。

2023年のパフォーマンスの振り返り

- 2023年の年間騰落率は+10.40%でした。
- 日経平均株価が33年ぶりの高値をつけるなど世界的にも日本株にスポットが当たった年となりました。
- 米長期金利の上昇を背景に国内小型成長株は概ね軟調な動きとなりましたが、11月以降、米国長期金利がピークアウトしたことで持ち直す動きとなりました。

基準価額の推移



基準価額
14,852 円

年間騰落率
+10.40 %

設定来騰落率
+48.92 %

(2023年12月29日現在)

※期間: 2017年7月28日(設定日前営業日)~2023年12月29日(日次)

※基準価額は、設定日前営業日を10,000円として計算したものです。信託報酬控除後です。

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※設定来騰落率は、設定日前営業日との比較です。

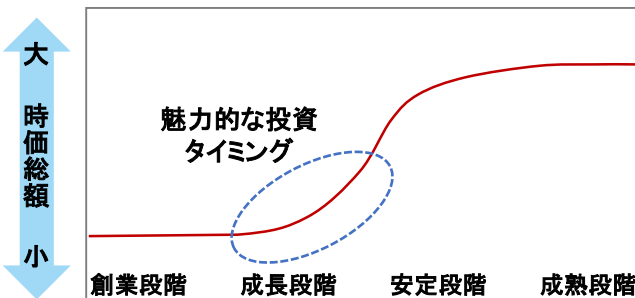
上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。
- 当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

銘柄選定について

- 企業の成長サイクルでは、成長段階から安定段階へ向かうステージにおいて売上や利益が大きく成長する傾向があります。成長段階の企業が多く含まれる「中小型株」に投資することで、中長期ではより高いリターンを得ることが期待できます。
- 2023年は生成AIの拡大に伴い、需要増加が期待される半導体関連銘柄などが基準価額の上昇に寄与しました。

企業の成長サイクルのイメージ



※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

基準価額寄与度上位銘柄

	銘柄名	業種
1	A b a l a n c e	電気機器
2	T O W A	機械
3	ソシオネクスト	電気機器
4	日本マイクロニクス	電気機器
5	M A R U W A	ガラス・土石製品

期間: 2022年12月30日～2023年12月29日

足元で注目しているテーマ

- 2023年12月末時点での上位投資テーマは以下の通りです。足元では、世界的な「AI(人工知能)」の活用が広がることで需要増加が期待される銘柄や、電気自動車やクリーンエネルギーに関連する銘柄など「脱炭素」に寄与する銘柄に注目しています。

上位投資テーマと組入銘柄例

	AI(人工知能) 19.2% 生成AIの活用や開発を行う銘柄のほか、生成AIの活用が広がることで需要増加が期待される半導体関連銘柄など	日本マイクロニクス	東証プライム	サーバ用メモリ向けプロブカードを提供
		TOWA	東証プライム	生成AI向け半導体後工程用製造装置を提供
		Appier Group	東証プライム	AIを活用してビジネスの意思決定をサポート
	脱炭素 11.7% EV・HVの普及や脱炭素政策により需要が増えるとされる銘柄や、省エネにつながる製品を製造している銘柄など	MARUWA	東証プライム	熱伝導・放熱性に優れた回路部品などを提供
		ダイヘン	東証プライム	再生エネ発電所向け変圧器などを提供
		ENECHANGE	東証グロース	EV用充電サービスを提供
	健康 10.9% 少子高齢化にともない中長期的な拡大が期待される医療福祉関連の銘柄や医療機器、医療DX銘柄など	エコナビスタ	東証グロース	介護見守りシステム「ライフリズムナビ」を提供
		サンウェルズ	東証グロース	パーキンソン病専門老人ホームを運営
		JMDC	東証プライム	医療データを匿名加工し製薬会社などへ提供

※比率は対純資産総額比(マザーファンドベース)です。

※投資テーマおよび各テーマへの分類はちばぎんアセットマネジメントが考えるものであり適宜見直しを行います。

記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。

上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。
- 当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

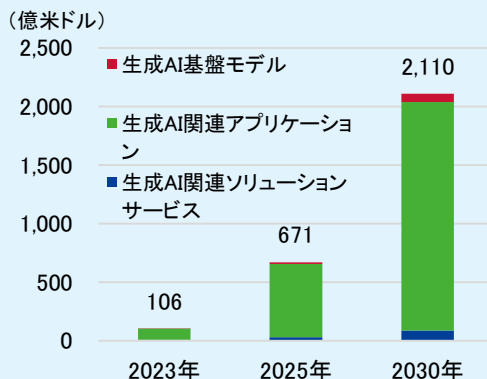
注目テーマ&組入れ銘柄紹介



AI(人工知能)

2023年は生成AI(ジェネレーティブAI)ブームの到来となりました。米新興企業OpenAIが、2022年11月30日に対話型AI「ChatGPT」を公開したことでブームに火が付きました。生成AIは名前の通り、新しいコンテンツを「生成」するAIで、テキストだけでなく、画像や動画を生成するものなど様々な種類が存在し、すでにビジネスの場で利用されています。当ファンドでは、生成AIの活用や開発を行う銘柄のほか、世界的に生成AIの活用が広がることで需要増加が期待できる半導体関連の銘柄にも注目しています。

生成AI市場の需要額見通し(世界)



出所: JEITA(2023年12月)の見通しを基に
ちばぎんアセットマネジメント作成

日本マイクロニクス

電気機器、東証プライム

- 半導体検査用器具プローブカードの製造が世界シェア3位、メモリ向けではトップシェアを誇る企業です。プローブカードは半導体ウェーハ検査工程に用いられる器具で、その信頼性が強く求められます。
- 生成AIの開発には膨大なデータを処理するための半導体が必要となり、今後当社が強みを持つAI用メモリ向けプローブカードの需要が拡大するとみえます。



TOWA

機械、東証プライム

- 封止や切断加工を中心とする半導体後工程用製造装置メーカーです。半導体モールドディング装置・金型において、世界No.1のシェアを誇ります。
- 生成AI向けの半導体の生産に最適な装置を開発しており、今後の需要拡大が期待されています。



※業種は東証33業種分類によるものです。

出所: ブルームバーグおよび各種資料を基にちばぎんアセットマネジメント作成

記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。

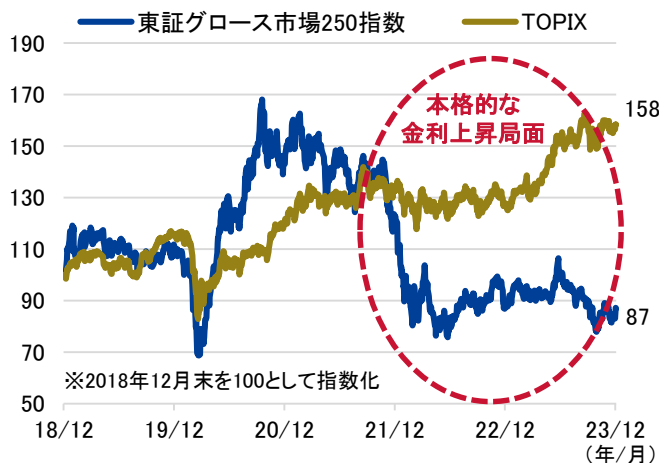
上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。
- 当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

今後の小型株市場の見通し

- 国内小型成長株のパフォーマンスは米国長期金利が本格的に上昇し始めた2021年末以降、TOPIX(東証株価指数)に大きく劣後する状況が続いています。
- 国内小型成長株の値動きは米国長期金利の動きと概ね逆相関となっています。足元、米国での利上げが停止し、2024年は複数回にわたって金利を引き下げる見通しが示されたことを受け、米国長期金利は下落基調となっています。
- 米国長期金利が下落、もしくは安定的に推移することにより、これまで相対的に低位で推移してきた国内小型成長株が上昇局面に入ることが期待されます。

小型成長株とTOPIXの推移



期間: 2018年12月28日～2023年12月29日(日次)

出所: ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

小型成長株と米国長期金利の推移



期間: 2018年12月28日～2023年12月29日(日次)

出所: ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

ファンドマネージャーからのメッセージ

過去3年間以上にわたり、小型株は大型株(特に割安株)に比べて株価が大きく劣後したことで、投資妙味の増した銘柄が増えています。今後は米金利の利下げを背景に、小型成長株が注目され始めると考えています。また、2024年度の企業業績は、大型株よりも小型株の増益率が高く、バリュエーション面でも小型株の方が割安感があることから、小型株に追い風と考えています。

日本は今後、労働力不足に直面するなか、生産性の改善に取り組む企業が一層増えるとみられ、AIを始めとした様々な技術進展が期待されます。足元、生成AI関連の半導体投資が活況で関連銘柄が上昇しましたが、今後は半導体市況の回復が見込まれるなか、周辺領域へ物色が広がると考えています。また、外部環境が不透明ななか、内需関連で独自要因で業績成長が見込まれる銘柄のウエイトを高位にしたいと思えます。

今年は世界各国で重要な選挙が実施され、様々な変化が生じることが想定されますが、今まで以上に取材活動を強化し、独自要因で長期的に成長する銘柄の発掘に最善を尽くしてまいります。

上記は過去の情報または作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。
- 当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

愛称：**発掘名人**

追加型投信/国内/株式

投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、**基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様にご帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

価格変動リスク、流動性リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額とします。 (基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換 金 単 位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額とします。
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申 込 締 切 時 間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
換 金 制 限	ファンドの規模および商品性格などにに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入・換 金 申 込 受 付 の 中 止 お よ び 取 消 し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取り消しを行うことがあります。
信 託 期 間	無期限(2017年7月31日設定)
繰 上 償 還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。 ・受益権の口数が5億口を下回った場合 ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決 算 日	毎年5月30日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	年1回、毎決算時に分配の方針に基づき分配します。 「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用があります。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。
- 当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

愛称：**発掘名人**

追加型投信/国内/株式

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.584%(税抜1.44%) を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務にかかる諸費用等はその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>
 サポートダイヤル：03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：下記の【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

販売会社一覧

商号等	登録番号	登録金融機関	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			

【ご留意事項】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日本中小型株ファンド(愛称:発掘名人)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆・保証するものではありません。